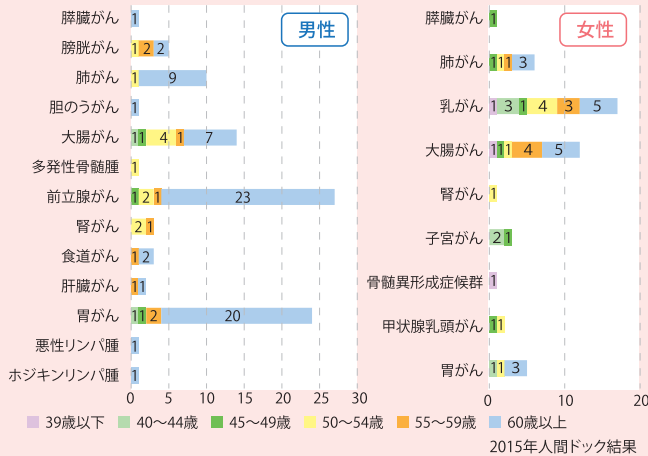


人間ドックでは様々な“がん”が発見されています。

2015年 保健事業部における臓器別がんの発見人数



女性のがんで一番多い乳がん..

乳房触診+乳房画像診断は、日本人間ドック学会の一日ドック基本検査のオプション検査項目になっています。

今回は、人間ドックを受診したAさん(70歳)とのお話を含めながら、人間ドックでできる乳がん検査などについてご紹介します。

保健師

「Aさん、今回の乳房の検査は視診と触診(以下視触診)のみのご予約ですが、マンモグラフィや乳房エコー検査はお受けになりますか?」

Aさん

「私、お乳も大きくないし、もう若くもないし、今のところ変わったこともないから...」

保健師

「男性でも乳がんの方はいますですよ。どの病気にも言えますが、自覚症状が出てくる前を見つけることが大切なんです。」

Aさん

「そうなのね。私はどんな検査を受ければいいのかしら?」

ではここで、会話に出てきたいくつかのポイントを見てみましょう。

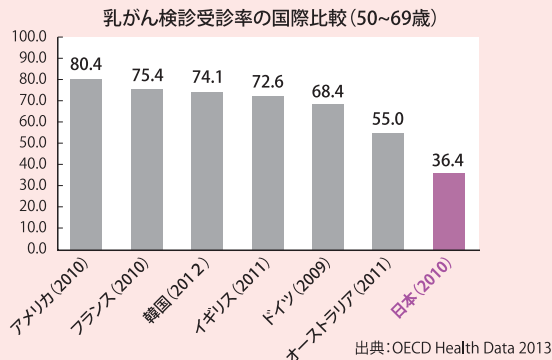
POINT

1 乳がん検診はなぜ必要なの?

女性の**12人に1人**が乳がん罹患しています。

日本では乳がんが増え続けています。

欧米諸国の乳がんの数は、日本に比べてかなり高いのですが減少傾向に転じており、日本との差は縮まる傾向にあります。日本の乳がん検診の受診率は他国と比較すると低いのが現状です。



乳がんは早く見つければ生存率の高いがんです

5年生存率が高いがんの部位別では皮膚、乳房(女性)、子宮、前立腺、甲状腺です。

参考: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2013

お知らせ

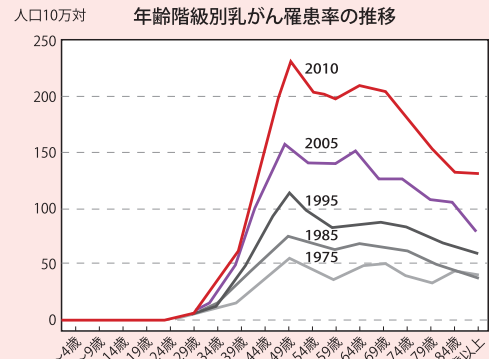
2016年度から乳がん検診項目が変更されました

問診とマンモグラフィのみとなり、視触診は原則なくなりました。視触診のみの検診が行われている国は、先進国の中では日本のみで、日本をはじめ欧米諸国で行われた視触診のみとマンモグラフィ併用の比較試験では、視触診のみの検査の有効性を示すものは少なく、画像による検査の効果を上回ることとはできないと判断されたためです。

* 厚生労働省: がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針「平成28年度から40歳以上の女性を対象に、2年に1度、乳がん検診の項目を、問診及びマンモグラフィとする。なお、視診及び触診は推奨しないが、仮に実施する場合は、乳房エックス線検査と併せて実施すること」

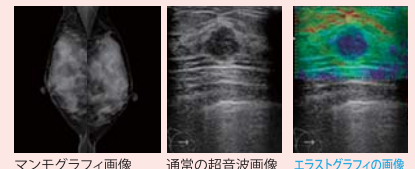
2 乳がん検診は何歳から何歳まで受ければいいのか?

乳がんは30代から増加しはじめ、40代後半から50代前半にピークを迎え、比較的若い世代で多くなっています。



3 乳がん検診ではどんな検査を受ければいいのか?

マンモグラフィや乳房エコーでの画像検査がお勧めです。マンモグラフィは、視触診では発見の難しい早期乳がんを発見できる可能性があります。乳房エコーは小さな乳がんの他に、良性腫瘍、のう胞なども発見できる可能性があります。



乳がん検診

	検診内容	対象	料金(税込)
浜松市	問診・乳房エックス線撮影(マンモグラフィ)・(視触診) *マンモグラフィのみの検診も可能	40歳以上で偶数年齢になる女性	1,600円 (40歳は無料クーポン券有り)
静岡市	乳房エックス線撮影(マンモグラフィ)・視触診	40歳以上の女性 (2年に1回、前年度に受けていない人)	2,000円 (無料クーポンについては、静岡市へお問い合わせください)